

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長: ジェニファー E. ジョーンズ
 第 2550 地区ガバナー: 佐貴直通
 事務所: 〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15
 ベルヴィ宇都宮内
 TEL: 028-651-2550
 FAX: 028-651-2551
 E-mail: m2550@agate.plala.or.jp



会長: 植竹一裕 幹事: 大島三千三
 事務局: (有)大島商店 大島三千三
 代表取締役 大島三千三
 〒329-3155 那須塩原市笹沼262
 TEL: 0287-65-0863 FAX: 0287-65-3381
 E-mail: 3003@mvp.biglobe.ne.jp
 例会: 国民の祝日を含まない週の水曜日
 12:30 - 13:30
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2973回 植竹年度第9回例会会報 2022-9-14 司会鈴木隆子君

会長挨拶 植竹一裕会長



9月10日は中秋の名月でした。天候に恵まれてとても綺麗な月を見ることが出来ました。中秋とは旧暦の秋が7月・8月・9月の三か月で、7月を初秋・8月が中秋・9月が晩秋と区分しています。旧暦の8月15日が今年新暦の9月10日にあたります。いわゆる十五夜ですね。その始まりは平安時代に遡ります。当時中国(唐)から日本へ伝わり貴族の間に広がりました。貴族たちは月を眺めながらお酒を飲んで、船の上で詩歌・管弦を楽しんでいたのが始まりと伝えられています。庶民の間に十五夜の風習が浸透したのは江戸時代に入ってからです。おそらくは、鎌倉時代から安土桃山時代まで、応仁の乱に代表される戦などで、庶民の生活に余裕がなく、江戸時代まで十五夜の風習は広がらなかったと思います。世の中が平和になり戦がなくなり庶民に広がっていきました。詩歌・管弦などの楽しみから、豊作の祈願や御礼へと庶民風が変わっていったのです。

月の満ち欠けは29日周期になります。ですから年に12~13回は満月を見ることが出来ます。では何故中秋の名月だけ話題になるのでしょうか？

季節的な要因がひとつあります。春ですと黄砂の飛来や、「春がすみ」で、空がクリアには中々なりません。夏は湿度が高い太平洋高気圧に覆われ、大気中の水分が多く遠くがはっきり見えません。秋になると大陸性高気圧の勢力が大きくなり、空気中の湿度が低くなって遠くまではっきりと物が見えるようになります。また、月の見える位置は冬に近づくほど空の高い位置を通ります。春・夏は低すぎて月本来の明るさが失われてしまいます。爽やかな秋風に当たりながら月を愛でるのにピッタリな季節感であると言えるでしょう。もうひとつは収穫の秋ということではないでしょうか？これが、まさに江戸時代に庶民に広がったお月見のスタイルといえます。お月見のお供え物として、「月見団子」が有名です。中国では伝統的なお菓子である月餅を供えていましたが、日本で形を変えて月見団子になったそうです。

明治時代になるまでは、日本の暦は太陰暦という月の満ち欠けで時の流れを計っていました。農家の皆さんはその月の満ち欠けで季節の変化を感じ取り農作業をしていたのです。秋はそんな農家さんにとって作物の収穫時期です。月見団子を満月に見立て、豊作の祈りや感謝はもちろんのこと、万事物事が丸く収まる事を願い月見団子をお供えし、その後に食べる事で健康と幸福を得られると信じられておりました。十五夜に団子を15個大皿に供えるのが伝統的とされ、山の形に積む事で霊界を通じると信じられていた様です。

団子以外にも里芋や葡萄の様に丸い作物を供える風習もあるそうです。それぞれ豊作を祈り、豊作を祝う意味を込めています。特に葡萄はツル植物なので、ツルが月と人との結びつきを強める縁起物として尊ばれているそうです。お供え物の定番としてススキがあります。このススキにも理由があります。

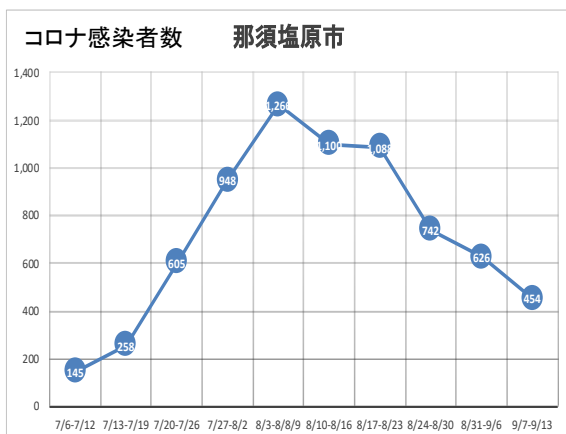
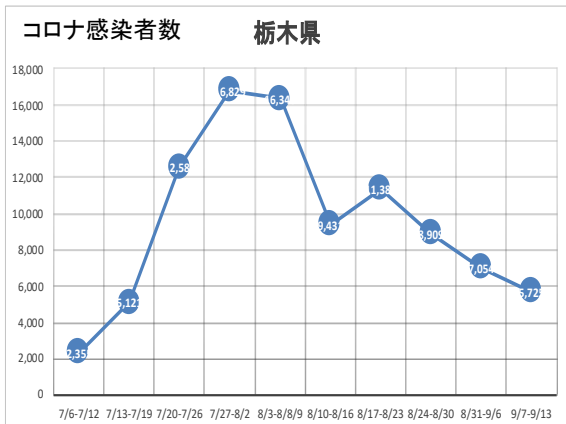
古来日本では、背の高い稲穂に神様が

出席報告 黒澤洋一委員長 (出席規定の免除会員数8名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 9月14日	35(8)	26(6)	9(2)	78.8%	—	—
前回 9月7日	35(8)	28(6)	7(2)	84.8%	3	94.3%

降り立つと信じられており、お供え物にお米や稲穂をよく用いられていました。しかし、中秋の名月の時期は稲穂が実の前になります。そこで代替え品としてススキが供えられたのが起源という一説もあります。更にススキには邪気を払う力があるとされ、収穫時期に近い中秋の名月の時に供えることで災いから作物を守り、この年の豊作に感謝し、翌年の豊作を願う気持ちが込められていたのです。日本最古の物語として有名な竹取物語も月に帰っていくお話です。昔から月と日本人には深い関係があることが分かります。当時の人々は月の満ち欠けの理由を科学的に説明できません。非常に神秘的に感じていたはずで、だからこそ、かぐや姫のお話が生まれ、お月見という風習も生まれたと思います。

アジア圏では日本と同様に月を愛で感謝する風習がありますが、西洋では元々エジプトの太陽神からの流れで暦も太陽暦が採用されていたから、月は逆に悪魔的な捉え方をしています。狼男やドラキュラ男爵などでその傾向が見受けられます。ところ変われば扱い方も大きく違いますね。一年間に何回もある満月ですが、我々が見ることのできる季節と月の高さや作物の豊作祈願がひとつになっています。ご先祖様の素敵な考え方に敬服する次第です。残念ながら今年の中秋の名月は過ぎてしまいましたが、少し欠けたお月様も素敵だと思えます。



今晚あたり、秋の夜長を少し遅いお月見を楽しまれては如何でしょうか？BGMは秋の虫たちの歌声が聞こえてきます。季節の変わり目は、体調を崩し易い時期でもあります。ご自愛いただきますようお願いいたします。

本日は9月最後の例会になります。次の例会は10月5日の観月会になります。皆さんお間違えの無いようお願いいたします。

最後に感染者数推移をグラフにして張り出します。減少傾向は続いております。次回の観月会までに減少傾向が続いてほしい物です。

幹事報告 大島三千三幹事



- 10月19日例会終了後、理事役員会を開催いたします。
- 地区より「組織規定を理解し変化に対応する」ためのセミナー開催の案内が届きました。クラブ定款細則検討委員会の皆様にメール転送いたしました。

委員会報告 稲垣政一副会長(代行)



○ 親睦委員会 石山桂子委員長

親睦委員会より観月会のご案内をさせていただきます。

日時は10月5日(水)18時30分点鐘、会場は割烹石山で、尺八と琵琶の演奏をお願いしております。出欠表に書いていない方がおられますがなるべく多くの方に参加していただきたいと思えます。特別企画として「寿司春」



さんと共同でお料理を提供しますのでお楽しみにしてください。

😊 ニコニコボックス 佐藤博委員



- 佐貫直通ガバナー
公式訪問例会御礼
- 佐藤博君 スマイル担当卓話、渡辺さんよろしくをお願いします。

🌟 本日の卓話 スマイルボックス委員会 渡辺裕雄委員



高等学校等 学生向け金融リテラシーセミナーについて

当行において、サステナビリティの取り組みの一環として、地域の持続可能な経済活動に寄与するように高校生向けの金融リテラシー

セミナーを実施しています。

金融リテラシーとは一言で言うと「お金に関する正しい知識」です。金融や経済に関する知識や判断力。個人がすべての財源を使って情報に基づいた効果的な決定を下せるようにする一連のスキルと知識を持つこと。

まずは、我が国を取り巻く環境について、ご説明します。

我が国では、男性の平均寿命が81歳、女性の平均寿命が87歳と世界でも有数の長寿国となっております。一方で少子高齢化の影響で、年金支給額や支給年齢の引き上げが予想されるなか、老後に向けた資産形成の必要性が強く叫ばれております。

日本の家計金融資産は、約2,000兆円あり、そのうち約半数の50%以上が現金預金です。一方で、株式や投資信託等の運用資産は約19%と、アメリカの55%やイギリスの42%と比較して非常に低い水準となっております。我が国の金融リテラシー教育は、諸外国と比較して非常に遅れているのです。

政府が唱える、国民の資産を「貯蓄から投資へ」シフトさせることを通じて、投資から得られる所得資産を増加させる「資産所得倍增計画」を実現させるためには、若いうちから「正しい知識」を身につけて「正しい方法」で資産を運用する必要があります。こうした背景を踏まえ、2022年より高等学校の学習指導要領に、「資産形成」が追加されました。

ここからは、栃木銀行が具体的に実施している高校生向けセミナーについてご紹介させていただきます。

当行では、宇都宮商業高校の生徒さん向けに平成28年より毎年1回金融リテラシーセミナーを実施しております。日本を取り巻く社会環境、経済環境を踏まえ、ライフイベントと照らし合わせて「なぜ運用が必要なのか」をなるべくシンプルに、具体例を交えて説明しています。教育現場の意見を聞くと、資産形成に関する知識は高校生だけでなく、教える側である教職員も必要であるとの話もありました。この取り組みはマスコミからも取材を受け、下野新聞、日本経済新聞にも掲載されました。

また、令和3年度からは県内の商業高校を中心にセミナーを実施しております。当行は、地元の銀行として、地域の持続可能な経済活動に寄与するため、この取り組みを順次拡大していく予定であります。

資産運用と聞くと「リスクがあるのでは」と思う方は多いと思います。一般的にリスクとは「危険」を意味しますが、運用の世界のリスクは「値動きの幅」を意味します。現在の金利環境と物価上昇幅を考えたときには、「資産運用」は必ず必要です。いま、100万円

で買えるものは、10年後には買えなくなります。物価上昇によりお金の価値が下がるのです。いまは、昔と違って運用が当たり前の時代なのです。高校生の学習指導要領に「資産形成」が追加されました。こうした動きは、高校生のみならず、小学生や中学生にも広がっております。金融庁や銀行協会では、小中学生向けの金融教育の教材を作成しています。調査では、金融リテラシーの高い方は、金融資産は増やしていき経済的な豊かさを享受しています。一方で低い方は高金利で借金をしている方がいるということで、金融資産規模に大きく差出ている。とのこと。

ロータリーの皆さまにおいても、ご自身のライフプランと照らして、あるいはお子様、お孫様の人生においてこれからどれだけお金がかかるのか、人生100年金支給ともいわれる長生き時代に備えるにはどうしたらいいのか、考えるきっかけになれば幸いです。

出席委員会報告 鈴木久雄副委員長



○ 活動報告 鳥居輝一社会奉仕委員長

9月14日、ホテルブランヴェール那須を経営する株式会社三和（本社：東京都墨田区業平2-8-7）から寄贈していただいたマスク106,200枚(トラック1台分)を受託、搬送いたしました。なお、このマスクの配分については行政とも連携し、地域にとって公平なものとなるよう努力する所存であります。



9月14日欠席者（敬称略）
 荒井昌一 泉道夫 秋間忍 澤田吉夫 井出法
 藤崎善隆 永山三芳 吉光寺政雄 戸野俊介

前回9月7日分メイクアップ（敬称略）
 高木茂 藤崎善隆 植竹一裕

次回例会 令和4年10月5日 担当 親睦委員会（親月会）

近隣クラブ例会日
 ○火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028
 ○木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

近隣クラブ例会日
 ○木曜日 大田原/ホテル花月 0287-54-1105
 ○金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：秋間忍・村山茂・和氣勝利・瀧田雅仁